

平成27年度 前期学校評価アンケート結果について

福木中学校評価委員会

今年度の前期学校評価アンケートは、生徒、教員、保護者の意識について比較を行った。教員のアンケートについては前年度のアンケートを見直し、「学力の向上」の領域、「豊かな人間性の育成」の領域、「まちぐるみによる教育」の領域、すべての領域において具体的な数値や取組を示すことでより評価数値の具体性の向上を目指した。以下に示すのはそれぞれの領域における考察および今後の取り組みである。

1. 学力の向上について

<考察>

- 授業のめあての提示や生徒指導の三機能を活用した授業改善など一昨年度から継続して行ってきた取組が浸透し、授業スタイルの確立がなされてきている。(生徒平均項目①3.47項目②3.49) 授業規律が定着してきている今年度、授業に意欲的に取り組もうとしている生徒に対してより充実した授業が展開できるように効果的な視覚支援や小グループ活動などについてさらなる研修を重ねていく必要がある。
- 昨年度から取り組んでいる授業開始時の瞑目、あいさつが学校全体に浸透してきていることがうかがえる。(項目④生徒三学年平均3.67 教員3.82) これは前年度からの取組を継続して全体での取組にしてきた結果であると考えられる。また今年度から新たに取り組んでいる着ベル(授業準備をして着席した状態で授業開始のチャイムを迎えること)についても生徒会の取組としてキャンペーンを行うなどする中で少しずつ定着してきている。
- 家庭学習の定着を目指して今年度は自主学習ノートの確実な提出と内容の充実を目標に掲げた。生徒会と連動してキャンペーンを行うなどする中で確実に提出する意識は伸長している。しかし、一方で1年生に比べて2、3年生の宿題や自主学習などの定着感は低くなっている。(項目⑤1年3.59 2年3.04 3年3.24) これは一つ一つの自主学習や宿題をていねいに行いやりきっていくことが学力の向上につながっていくという意識が十分に育っておらず、提出することだけが目標になっていることが原因として考えられる。今後は家庭学習の内容充実を目指して取り組んでいく必要がある。

<取組>

- 今年度各教科授業公開月を決めて教員全員が年一回は授業研修を行っているが、さら

に積極的に他の教員の授業を見に行くことで一人一人の授業力の向上を目指していく。

- 瞑目、三秒礼、着ベルなどの取り組みについては引き続きどの教科においても意識の徹底を図る。
- 各教科の宿題や自主学習について、手本となるようなノートを生徒全体に見せるなど具体的に何をすれば充実した家庭学習になるのかやり方を示すようにして、ていねいに取り組む指導を行っていく。

2. 豊かな人間性の育成について

<考察>

- 項目⑥の教員の数値が低くなっている（2. 29）が、これはASESSEの活用が弱いためだと考えられる。日々の人間関係づくりをより強固なものにするために年三回のASESSEを実施し学年会などで交流・分析を確実に行いたい。同項目の生徒の数値に関しては学年が上がるごとに数値が下がっている。人格の形成時に起こりうることではあるが、生徒が本当に困ったときや学習に関する質問があるとき、相談をすることができる環境を教員側が調べておくことは重要である。
- 項目⑧についても学年が上がるごとに数値が下がっており、学年をおうごとに自己肯定感を持ちづらくなっている生徒が増えているものと思われる。（1年3. 12 2年2. 74 3年2. 64）

<取組>

- ASESSEなどを定期的に行い、分析を共有することで「見守る体制」を強化する。
- できていることについてはその瞬間にしっかりと認める・ほめることを教員が徹底して行う。

3. まちぐるみによる教育の推進について

<考察>

- 地域との交流に関する項目に関して生徒、教員ともに肯定的な評価は60～70%程度にとどまっている。各部活動や生徒会執行部などにおいては地域のボランティア活動に参加させていただいているが、生徒会活動全体の取組として広げていくことが必要だと考えられる。
- 生徒、教員ともに項目⑫に関する肯定的評価が高い。（生徒平均3. 41 教員3. 76）朝のあいさつ運動や下校点検におけるあいさつなど様々な場面で活動を仕組むことで自発的にあいさつをする生徒が増えてきている。
- 学校だよりや生徒指導だよりなど学校全体としての定期的な情報発信に努めることは

できているが、教員による様々な形での情報発信にはまだ課題がある。(項目⑩教員 2.74)

<取組>

- 地域との交流を生徒会新聞や朝会などで紹介するなどすることで学校が地域に関わっていることの認知を高めていく。
- あいさつに関しては引き続き取り組みを進めていき、生徒が学校だけでなく地域や家庭においても活発なあいさつを行うことを目指していきたい。
- 配布物が保護者の手元まで届いていないという声も聞く。重要な書類などについては引き続き学校メールなどを活用して配布の事実や期限などが確認できるような工夫をしていく。